

するとともに、庁内に設置しているバス路線確保対策協議会で調査、研究を行い、27年度に試行的にでも実施したい。

AED使用講習の充実を

北村 貴寿 議員

Q AEDがあるのに使わない、使えないという状況によって、助かるはずの命を失ってしまったりという事例が全国で発生している。本市のAED設置状況や使用講習の状況はどうか。さいたま市教育委員会が作成したアスカモデルを参考にAED使用マニュアルを作成し、啓発を行うべきである。また、DVDの作成、配布なども効率的な手法と考えるがどうか。

A AEDの設置場所については、全体で168カ所である。また、学校でのAEDの研修については、平成25年度に教職員向け7校、児童向け1校、保護者向け7校で実施している。また、AED使用マニュアルやDVDの作成については、迅速に効率よく対応できる体制が大事なため、今後、内部で十分協議し、体制を整備したい。

高齢者からバス料金の助成を求める声、多数

神近 寛 議員

Q 市は「第2次健康おおむら21計画」で「高齢期における社会参加の促進」を掲げている。市の調査によると高齢者の外出を阻害しているのは、バスなどの移動手段の少なさであり、また、家計の苦しい人ほど外出回数が少ないことも判明している。高齢者の外出支援にバス料金の助成措置が強く望まれているが、どのように考えているのか。

A 高齢者の方々が外出しやすい環境整備は極めて重要であると考えている。財政上の問題もあるが、高齢者の方々の公共交通機関の利用については半額、できれば無料にしたいと考えており、27年度からぜひ取り組みたいと思っている。また、低床バスの導入の必要性も同じように考えている。

産業・経済・労働

新幹線開通による農地の減少と対策について

城 幸太郎 議員

Q 新幹線開通により買い上げられる農地面積はどのくらいな

のか。また、買い上げられなかったため残地が発生し、農地が分散され、最終的に農業経営が不可能になる恐れがある。農業改革により農地の集約が叫ばれている中で、新幹線開通により失われる残地を含めた農地面積の広さはどのくらいなのか。

A 現在のところ、新幹線開通による農地の減少面積は、18・2ヘクタールであるが、残地の計算まではしていない。

キッチンスタジオをどう使う

伊川 京子 議員

Q 11月にオープン予定の市民交流プラザのキッチンスタジオについて、その設置目的が市民によく理解されていない。主な目的が公民館等にある調理室とは違うということを確認に打ち出す必要がある。例えば調理施設のある研修室やフリーの貸部屋、パーティールームなどの位置づけで、幅広く自由に使ってもらってよいのではないか。

A キッチンスタジオについては、会議室等もあるため、軽食をとる交流の場等として幅広く使用しなければ、何の効果も出ないと思う。市民の方々にもよくご理解いただけない面があると思う

ので、今後、キッチンスタジオのイメージの周知を図ることに努力していきたい。

裏見の滝を横断する吊り大橋の実現を

永尾 高宣 議員

Q 本市の観光名所である「裏見の滝自然花苑」は、落差30mの滝と彩り鮮やかな世界のシャクナゲが約6,000本あり、四季折々の景観を楽しむことができる。周辺には多良岳県立公園区域内の野岳湖や鉢巻山もあり、さらに福重地区には新幹線の車両基地もできる。「夢の大吊橋」が実現すれば、市内北部地域の活性化の起爆剤として期待できると思うがどうか。

A 裏見の滝への吊り大橋の実現は、夢の持てる提言だと思つて。全国各地に吊り橋があるが、状況によつては、たくさん観光客が訪問されていることは承知している。吊り大橋の実現に向けて、全国各地の事例を調査し、庁内でも協議、研究したい。

大村市のエネルギー政策の現況と展望は

三浦 正司 議員

Q 市内の河川を利用した小水力発電やJ・P・E・Cの制度を活